

## 平成30年度 第1回 広報広聴モニター会議録

日 時 平成30年6月14日（木）14:00～15:35  
場 所 北2条仮庁舎 3階 庁議室  
出席者 副市長  
市民環境部 佐野部長、井上次長  
市民の声をきく課：藤井課長、新谷係長（市民相談係）、高橋係長（広報係）  
総合支所市民環境課：佐々木係長（端野）、桑島係長（常呂）、伊藤係長（留辺蘂）  
モニター：12人中11人出席

1. 広報・広聴モニター委嘱状交付
2. 副市長あいさつ
3. 自己紹介
4. 設置要綱をもとにモニターの役割を説明・・・ 新谷係長
5. 広聴業務概要について・・・ 新谷係長  
平成29年度の広聴業務受付件数  
(1)「陳情・要望」について (2)「市長への手紙」について (3)「市民の声」について  
(4)「市長へのポスト」について (5)「市ミントボックス」について  
(6)「移動市長室」の開催 (7)「広報・広聴モニター」について  
(8)「施設見学会」の開催について (9)パブリックコメント (10)その他市政相談等
6. 広報業務概要について・・・ 高橋係長
  - (1) 市の広報手段
    - ①広報紙の発行 ②市ホームページ・フェイスブックページの管理・運用
    - ③メール配信システム（イベント情報・くらしの情報）
    - ④市長定例記者会見 ⑤広報メモ（プレスリリース） ⑥コミュニティFM ⑦広報車両
  - (2) 広報紙「広報きたみ」4～6月号について
    - ①毎月の広報紙の構成  
黒・マゼンタの2色で全ページを印刷（人物写真の発色を優先）。  
表紙－巻頭特集－読み物－おしらせ－健康相談・日祝日当番医など－催しもの案内－読み物の順を定型としている。市役所の担当課が発行する独立した印刷物を折り込みする号がある。  
例年は同テーマの特集を連載することはないが、平成30年度は上下水道局から水道料金の値上げについて説明するための特集を連載している。7月号まで掲載する予定となっている。  
4月号ではLS北見関係イベントが続いたこと・市民の関心が高いと判断したことから、読み物の一部（まちの話題）をLS北見の特集に差し替えた変則的な構成としている。
    - ②表紙 広報・広聴モニター会議でいただいた意見（市民の顔が写っている写真だと親しみやすい）を参考に、6月号では冬あかー掃運動に参加している市民の写真を使用するな

ど努めている。

- ③特集 大きな制度変更があったものなどを中心に1ページ単位または見開きで作成
- ④読み物 キラメキきたみ人、なるほど健康メモ（北見医師会）、歯っぴーTIME（北見歯科医師団）、まちの話題（各自治区の催しなど7件を紹介する）
- ⑤おしらせ 「自治区のおしらせ」「暮らし」「募集・補助」「講座・催し」「こども」「健康・福祉」「国保」「年金」「官公庁」の順に分類して毎月掲載。「自治区のおしらせ」はどの自治区に関わるおしらせであるかを枠上部のタブに表示している。
- ⑥健診日程・健康相談など 心身の健康に係る相談窓口や日曜祝日等当番医などを掲載。
- ⑦市民ホール催しもの案内 市民会館や芸術文化ホール等で行われる催し物について、主催者が市であるかどうかにかかわらず掲載している。見開き右側に一覧表、左側に当月の開催やチケット販売開始がある行事の詳細を掲載する構成としている。
- ⑧読み物 北見の歴史あれこれ（筆者の田丸さんによる連載が現在4年目）
- ⑨折込 広報紙本体の他に、市担当課が別途印刷したチラシ等を折り込み配布する号がある。

### (3) 各自治区版広報の「お知らせ版」概要について・・・ 3自治区担当者より説明

#### ①端野自治区お知らせ版・・・ 佐々木係長

表紙（前々月～前月に開催した行事や風景等の写真）、図書館新刊案内、お知らせ（総合支所・教育事務所・消防署端野支署）、担当者が取材した行事、まるもり通信（端野町時代からの姉妹都市・宮城県丸森町からのコラムを掲載。丸森町の広報紙にも同様のスペースを設け、相互に掲載記事を作成している）、端野自治区内の慶弔関係と人口動態、図書館からのおすすめ（書籍紹介）。

#### ②常呂自治区お知らせ版・・・ 桑島係長

A3縦版・両面印刷。合併前の広報紙「ところ通信」の名称を使用。表面には前月の自治区内行事の様子、姉妹友好都市の高知県佐川町・岐阜県大野町からの話題を掲載。裏面にイベントカレンダー（健診情報など）など。モノクロ印刷したものを配布しているが、ホームページ掲載版では写真などをフルカラーで使用している。

#### ③留辺蘂自治区お知らせ版・・・ 伊藤係長

記事が多い月は6面で構成。表紙（前々月～前月に行われたイベント等の写真を使用）、表紙の下には前月行事の様子、2ページ以降に留辺蘂総合支所内の担当課からのお知らせ記事を掲載。お知らせ版とともに公民館講座、社会教育事業の開催内容および図書館新刊の紹介等、留辺蘂交番や温根湯交番からのおしらせなどを折り込み配布。37町内会を通じて、2,700世帯に配布している。

#### (4) 意見交換（要約しています）

モニターA：陳情・要望や市長への手紙、市民の声など広聴に関する部分で、平成29年度の件数がそれまでの3年度に比べて多いように見受けられますが、どのような要因が考えられるのでしょうか？

市民の声をきく課長：広聴については、年々件数は増えている状況です。郵便やインターネットなど投書の方法が増えていること・市政への関心が高くなっていることなどが要因ではないかと考えています。

モニターA：市政に関心が高まるきっかけなどがあったのでしょうか？例えば選挙があったことなどは影響しているのでしょうか？

市民環境部長：ロコ・ソラーレの活躍で市内に限らず全国からさまざまな反応をいただきましたので、そうした部分も大きかったのではないかと思います。

モニターB：一点目、質問です。広報きたみのキラメキきたみ人について、以前はその方の年齢が書いてあったと記憶していますが、最近その表示がないのは個人情報保護の関係でしょうか？

二点目は意見です。相変わらず文章が固くてわかりにくいところがあります。年金や国保など、文章が長くて一読しただけでは内容が分かりにくいと感じます。三点目、広報は読んで面白くないです。札幌市の広報で漫画を用いるなど工夫をしているそうです。そうした検討ができないのでしょうか。

広報係長：1点目のキラメキきたみ人の年齢につきましては、取材対象者の傾向として、年齢さらに年代がわかるような書き方を望まれないということが理由です。中にはもちろん気にされないという方もいらっしゃいますが、原則載せないという方針としています。

2点目・3点目のご意見については、できるだけ図表などを用いて視覚的なわかりやすさを心掛けているところではあります。しかしながら、広報や通知文書などを見て来庁した方から「こんなことは（広報または文書に）書いていなかった」という論調で苦情を言われるケースは非常に多く、担当課としても最低限掲載しなければいけないラインを慎重に判断しているところです。

市民環境部次長：札幌市の広報紙について話題が出ました。私も報道で知って関心がありましたので、札幌市ホームページから印刷したものを持っています。皆さんにもご覧いただきたいと思います。

報道の中でも、賛否両論の意見を目にしました。若い人へのアプローチという意味では一つのアイデアと思いますが、同じ方法を取ることをすぐに取り

入れるという判断にはなりません、さまざまなアプローチを考えることは北見市でも取り組んでいきたいと思えます。

モニターA：北海道庁の広報と比べると、北見市の広報は読んで疲れます。空間の使い方や文字詰めなどが関係すると思えます。分量が多く載せきれない部分をホームページに掲載する、それも動画にするなどの工夫ができるのではないのでしょうか。企業とのコラボで自動販売機や看板に情報を表示するという事例も北海道ではあるようです。

市民の声をきく課長：ご意見ありがとうございます。

モニターC：他の自治体では広報きたみほどのページ数の広報は無いのですが、編集に苦労していることと察します。掲載内容を省略することで紙面を減らすことができればいいと思えます。北見の歴史あれこれ面白く読ませていただいています。年度後半になってくると市が何に注力しているのかが薄れてくるので、そうしたことを掲載してほしいです。

また、「自治区のおしらせ」「健診日程・健康相談」では自治区ごとに色を変えているようですが、これは不要ではないかと思えます。

広報係長：当面はこの表記とさせていただきたく思っています。

モニターD：5月号3ページに「平成30年度の主な事業」とありますが、ここは政策的な事業なのだと思いますので、事業費も書いてあるといいかなと思えます。

広報係長：今後、検討いたします。

モニターD：対象者に直接案内文書が出るようなものは広報きたみに掲載しなくてよいのではないのでしょうか。

市民環境部長：ただ今モニターD様からいただいたご意見については、難しいところです。対象者に個別通知し広報きたみにも掲載することを、同じ目的に対し二重に公費を使っていると批判する考え方もあるかもしれません。しかし、事業を所管する部局にとっては、対象者が手続きをし忘れることで生じる不利益を最大限なくするためには広報紙上でのお知らせは必要なものと捉えております。その辺りの切り分けについては、今後の長期的な課題とさせていただきたく思えます。

モニターE：5月号の表紙について、暗い印象がします。春の訪れを表現するためであれば、

もっと明るい写真を使ってもらいたいと思いました。

同じく5月号12ページでは、まちの話題でロコ・ソラーレの写真を用いていますが、これも暗いイメージです。

先日行われたオホーツクツーデーマーチは天候にも恵まれて大成功でした。5月号にそのお知らせが掲載されていますが、市民が参加しようという気持ちになる記事だったかという点、そうではなかったと思います。

広報で知らせた後のこと、この場合は行事への市民の集客などを意識して記事を作成していただきたいという要望です。

広報係長：表紙など写真については、撮影と加工の段階で生じた問題ですので、今後注意したいと思います。

オホーツクツーデーマーチのおしらせ記事については、インパクトが少なかったかもしれません。催し物の記事については参加したくなるような構成・表現を工夫したいと思います。

市民の声をきく課長：その他、ご意見がなければ、意見交換を終了させていただきます。

7. 今後の予定について 次回は10月、留辺蘂自治区で開催予定（会議・昼食・施設見学）、3回目は2～3月（会議・市長との昼食懇談会）